

**外国人介護福祉士候補者の
【国試対策情報】**

月報 第8号

2014 年、国家試験合格のために！！**【今から確実に、国家試験受験能力を養い、合格する計画を】**

- 国家試験合格を目指すには、その前に、国家試験受験能力を身につけなくてはなりません。
【受験能力】とは、言語能力の到達度によって決定されるものです。
2014 年 1 月に受験する人は、今から約 1 年半後に受験するわけですから、その期間を計画的に使って、十分な受験能力を養う時間があります。しかしながら、無計画な、そして、闇雲な「マークシート方式の国家試験過去問題学習」だけを学習しては、今年 1 月に行われた国家試験合格者数 36 人という、非常に低い合格率に留まってしまいます。
- 事業団が定期的に行っている模擬試験の結果を信じて、当然ながら、合格圏内にあると思っていた受験者が多くいました。しかし、合格発表後では、事業団の模擬試験の成績順位は、多くの施設から「信じられない」し、「今後は信用しない」などの意見が多数当会に寄せられています。このことは、事業団の教育方針に問題があり、施設からの信頼がなくなったと言えます。
- このような状態を二度と起こさないためには、人間の能力に合わせた【言語技能】を確実に身につける学習方法を取らない限り、国家試験問題を読みこなして、適正な答えを選択する能力は決して、一朝一夜で養われるものではありません。
- 即ち、何事も「ゴールを目指すためには、周到な計画を基に進む」ことが、いかに重要なことであるかが分かります。一般的な常識人であれば、誰しもが気付く「当たり前のこと」であるにも関わらず、残念ながら、政府をはじめ関係諸団体は、言語能力のない外国人受験者に対して、まるで、日本人の大学受験予備校で行われるような試験対策のみに追従していることは、専門的な日本語教育者からすると、「全くの愚策を信じて行っている集団」としか言えず、ただただ、具体的にどうしたら良いかが分からずに、右往左往している状況が読み取れます。
- このことを避けるためには、【今から計画的な、そして、体系的な学習計画を作成して、それに基づき、無理なく、着実に国家試験受験能力を養う】ことが重要で、【教育は科学なり】という原点から、「大局的に観て、総合的に考え、体系的に創り、継続的に行う」ことが肝要なことです。

投稿 愛知県 S 施設

外国人介護士候補生受け入れ事業は、受け入れ施設の施設負担額を平均すると、一人受入れに対して年間、350 万～450 万円程になっていて、施設経営にも大きく影響しています。一度受入れると三年間は受け入れを継続しなければならないので、施設負担額にすると、一人当たり三年間で、1,000 万円強となっているのが事実です。このような膨大な経費をかける以上、確実に国家試験に合格してもらいたいと願っています。合格ができなければ、これまで施設が受験者に負担してきた労力も、経費も無駄になってしまい、施設側には何のメリットも残らなくなってしまいます。

< 施設の声 >

その 1、 インドネシア人 1 期の候補生は、教師会さんの「日本語の試験」も受験しておりまして、お世話になりました。三名受け入れ、二名が合格、一名が不合格でしたが、事情があり、残念ながら皆帰国することになりました。施設としては、合格者には是非、日本で働いてほしいと願っていましたが、どんな事情であれ、全員帰国となって施設の今までの多大な努力と経済的な援助を考えると、なんとも虚しくて仕方がありません。他の施設でもこんな状態のところがあるのでしょうか。是非、知りたいものです。
(兵庫県・K 施設)

その 2、 AOTS の集中研修は、日本語と英語をまじえた指導をしていたりと、日本語だけで進めていないこともあるということ、受け入れてからすぐに候補者から聞きました。宿泊施設内でも、母国語を禁止させているわけでもなく、外国語が話せる先生が外国語対応をするので、候補者は「日本語を話せなくても全然困らなかった」と言っていました。このやり方事態、国の方針に問題があると感じています。700 時間の教育がもっとしっかりとしていれば、施設に配属された時には、もう少し、全うな日本語力がついているはずなのに、配属後はほとんど話せず、対応にも苦労しました。AOTS の集中教育では、日本語が身につかないということは、教育自体が無意味なことであり、大きな問題点なのではないかと思います。結局は、施設内でもう一度やり直し、対応に経済的な負担が増加するだけです。事業団の巡回訪問の際でも、候補者が日本語に困ると、英語で事業団側は対応しているので、英語が話せない施設の職員は何を話しているのか全く分からないし、受験者自身にとってもこのような対応を続けても、一向に、日本語力が身につくはずがないと以前から感じていました。そのために、国家試験対策をしても、問題自体が読めなくて、先に進めないことが多々あり、合格できるなんてとても思えません。
(大分県・H 施設)

その 3、 事業団と AOTS の指導方針の統一性がないと感じています。700 時間の集中研修後、施設に入職した時点で、候補者は、「日本語が難しいので、3 年間働ければいい。」と帰国願望がすでに出ていました。事業団の巡回指導でも、日本語能力が低い受験者に対しても、どうすれば伸びるのかという具体的なアドバイスはなく、あくまでも、国家試験問題中心になるため、問題すら読解できない人については、どうしてよいのか分かりません。本来では、事業団などが施設に対して、具体的な対応方法を教えるべきではないでしょうか。とても、疑問を大きく持っていますが、他の施設の方々はどう考えているのかを、是非、教えて欲しいと思います。
(福島県・S 施設)

その 4、 外国人介護士候補生受け入れ制度は、施設にとって価値のある成果が見えないし、想像以上に費用がかかり過ぎています。当方では、三年間で一人あたりに、約 750 万円はかかっており、それ以外に住宅の整備や、その他の経費で 200 万円近くの持ち出しとなっています。一人受け入れるのに、三年間で約 950 万円（1 年間で 320 万円）もの施設負担が増加することは、施設の経営にも多大な影響を及ぼしているのが実態です。受け入れる際には、事業団に手数料を支払わないといけないということにも、納得できません。年々受け入れる施設が減少している理由は、日本人と同等の給与を支払い、業務上においても、外国人対応で業務が煩雑になっており、施設としては、受け入れメリットを全く感じる事ができないためだろうと思います。さらに、国家試験合格者がでても帰国したら終わりです。
(山口県・A 施設)

【国家試験受験能力到達度】チェック

当会では、外国人介護士候補者のために【言語能力】を段階的にチェックする（A～Dレベル）と、【国家試験受験能力】を観る（E・Fレベル）を実施しています。

※ 受験者には試験結果に基づき、考察表（言語能力到達度）にあわせて、学習アドバイスをしていますので、現在依頼している日本語教師任せにせず、施設担当者が、客観的な「考察表評価」に基づいて現状を把握することが、日語能力を伸ばすために重要です。

※ そのためには、**3ヶ月単位で日本語力をチェックすることが大切です！**

常に、貴施設で働く外国人の日本語能力の変化を、客観的な数値で評価できる定期テストを重要視しましょう。その理由は、**国家試験受験能力は、試験問題が理解できる能力（読解力）をいい、合格能力は試験問題に対し、正しく答えられる能力（知識力）をいいます。**

※ 今後、貴施設の安定した運営のためにも、ぜひ定期テストを受けることをおすすめします。すでに、多くの施設ではその効果がでて安心したという声も増えてきています。

二年間（約三か月毎）

レベルF

レベルE

レベルD

レベルC

レベルB

レベルA

初回レベルAチェック

職域言語能力

生活言語能力

基礎言語能力

高校3年～専門学校1年レベル → 国家試験受験レベル

高校2年レベル

中学3年レベル

中学2年レベル

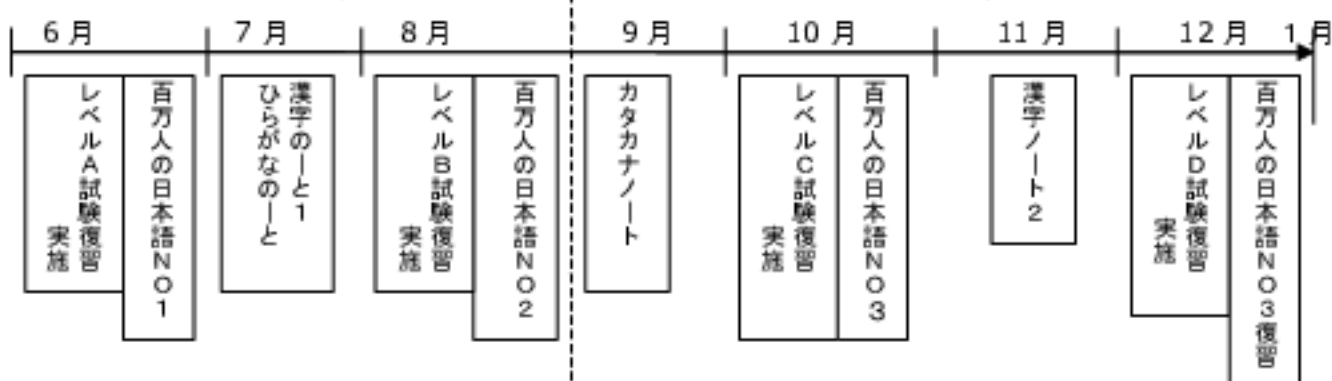
小学校高学年レベル

小学校低学年レベル

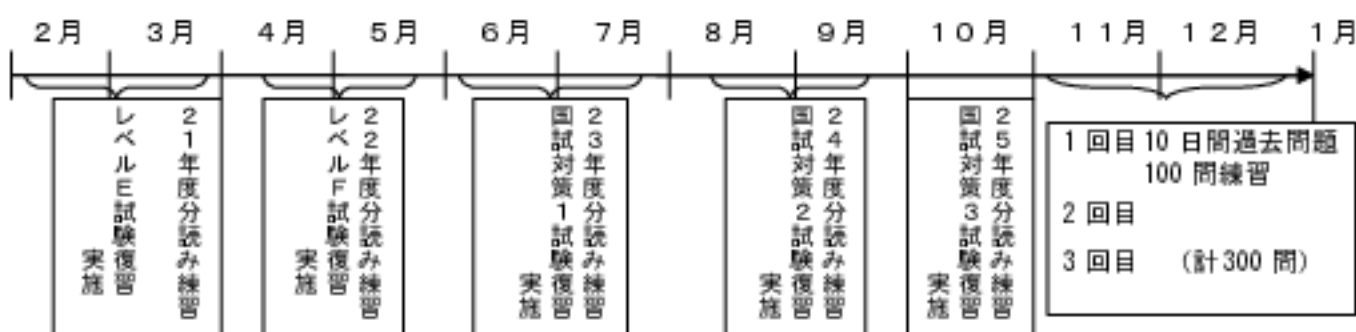
2014年、国家試験合格のために！！【学習計画概要例】

2013年 <基礎言語能力養成期間>

<生活言語能力養成期間>



2014年 <国家試験受験能力養成期間>



【受験参考書読み】

【受験対策読み】

《 学習者が勉強したくなる！ 楽しく・分かりやすい専門教材 》

- 【 基礎言語能力レベル I 】 【教材の特徴】 ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

日本語の基礎知識や身近な事例で、分かりやすい文で書かれており、特に「だれが・なに・どこで・いつ・どうする」が分かって、「規則性とその用法」が学べ、自在に読解力がつくれる内容になっています。

※ 習得漢字数 310字～520字
※ 習得語彙数 520語～1,580語



【漢字のひと(1)】

「100万人の日本語No.1」に引いた構成となっており、「文型・文の作り方」を習得しながら、効率的に漢字の読み書きが習得できるようにになっています。日本語学習の学習者が漢字習得をする上で最適です。また、中国人学習者にも同様です。



【ひらがなのひと】

ひらがな文字の習得に最適な教材です。字形や書き順だけでなく、日本語の基礎となる「疑問と答え」の仕方に絶対必要な勉強方法が学べます。身近な事例を使って学習でき、社会生活に必要な語彙も同時に学べ使える教材です。



【ひらがなカード】

表紙にはひらがな文字が一文字ずつ書かれて、裏面にその文字を使った語のイラストが色鮮やかに描かれています。イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類のその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら、自学できるついでになっています。基礎教育の日本語学習に最適な内容になっています。

【 基礎言語能力レベル II 】



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内など場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な語彙を理解しながら、生活や立場による言葉の使い分けが習得できます。

さらに、テキストを終了すると、「自分の思いや考え方」を数行表現できる能力が身につくように作られています。各ページで、日本語のあらゆる規則性と用法が習得できます。

※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語



【漢字ノート(2)】

「100万人の日本語No.2」に引いた内容で、漢字習得と人の社会生活だけでなく、人々に対する読解力も、同時に養えるように作られています。漢字の「へん・べい・り」の付録もあり、「漢字の成り立ち」に対する理解が、できる内容となっています。日本語の学習者が漢字を習得する上で最適です。また、中国人には、日本の漢字を習得させる効果がよりあります。

【 レベルIとレベルIIの違い 】

レベルIは、日本語を学ぶ上で重要な「規則性と用法」を学習して、【聞く・話す・読む・書く】を基本とし、日本人と同等の力を養うことができる能力を育てます。レベルIIは、会話文を中心に「思いや考え」を日本語で表現できる能力を育てます。



【カタカナノート】

カタカナ語彙を抽出し、漢字を学ぶイラストが各ページにあります。このノートは、説明文と会話文が繰り返し書かれていて、読みやすいです。場面を絵で表す文は、日本語の理解と、その習得しやすさをしながら、読解力によって、読解力と文型を学ぶ力も養えるようになっていきます。

【 生活言語能力レベル III 】



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

テキストNO1とNO2とは違い、NO3では職場での日本語力が発揮できるように、限られた登場人物の日常的な生活と仕事を通して、「日本語の使い方(運用)」力が養えるように作られています。そして、登場人物を通じて、会社での習慣や礼儀作法なども合わせて理解できることが特徴です。

※ 習得漢字数 650字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

【レベルIIの特徴】

日本語特有な表現、特に「語感」を習得し、人間関係を考慮した専門領域での日常会話ができる能力を高め、職場での意思伝達ができるようになります。語の種類と文の種類を使い分けながら、要約する能力を養うことで、職場での報告書やレポートが書ける能力が身につけられます。また、日本事情の知識も得られるのが特徴です。

学習段階	教材一覧	価格
レベル I	「ひらがなカード」	¥ 1,060
	「100万人の日本語No.1」	¥ 2,550
	「ひらがなのひと」	¥ 1,800
	「漢字のひと 1」	¥ 1,360
レベル II	「100万人の日本語No.2」	¥ 2,550
	「カタカナノート」	¥ 1,360
	「漢字のひと 2」	¥ 1,360
レベル III	「100万人の日本語No.3」	¥ 3,000
	※ 送料は別途	

【国家試験受験能力到達度】チェック申し込み書 <送付先：FAX 03-6677-0632>			
施設名：		ご担当者名：	
所在地： 〒			
電話：		FAX：	
メールアドレス：			
受験者名：		国名：	受験人数： 名
<単発受験> ※ ご希望の受験形態に□「レ点」を記入願います。下記の料金は受験者1名あたりの金額です。 ☐ 各受験段階で1回あたり @9,450 円 × 名 合計金額 円			
<継続受験> ☐ 受験段階初回からの場合 @7,350 × 10 回 = 73,500 円 × 名 合計金額 円 ☐ 受験段階Aからの場合 @7,350 × 9 回 = 66,150 円 × 名 合計金額 円 ☐ 受験段階Bからの場合 @7,350 × 8 回 = 58,800 円 × 名 合計金額 円 ※ この試験は国家試験受験能力を養うために実施しますので、約三年間分の受験料金となります。			

【日本語教育教材】申し込み書 <送付先：FAX 03-6677-0632>	
施設名： ご担当者名：	
所在地： 〒	
電話： FAX：	
メールアドレス：	
※ ご希望の教材の冊数を（ ）内に必ず、ご記入下さい。 100万人の日本語No.1（ ） ひらがなか一ど（ ） 漢字の一と1（ ） 100万人の日本語No.2（ ） ひらがなの一と（ ） 漢字の一と2（ ） 100万人の日本語No.3（ ） カタカナノート（ ）	
※ お申込書が届きましたら、一週間以内に教材をお届け致します。教材到着後、三日以内に同封しているお振込先にお支払い下さい。送料は着払いにさせていただきます。	
全国日本語教師会 事務局 〒164-0002 中野区上高田 3-2-13 石田ビル303 電話：03-6317-6009 FAX：03-6677-0632 メール：nihongokyoushikai@gmail.com	

より良い教育効果を上げるために！！

★ ★ 当会では、40年間の日本語教育実績がある【日本語教育教材】を長年に渡り使用して、大きな教育効果を上げております。

また、この教材は【日本語を日本語で学ぶ】ことができるもので、学習者が自宅学習を積極的にでき、決められた学習時間以外でも、「独学で学べること」が最大の特徴です。

自信を持って当会が使用している教材を推薦致します。

ご購入頂いた皆様方には、具体的な教材の「指導書」を同封しておりますので、指導経験が無い方でも、安心してお使い頂けます。「指導書」に従い教育することで、学習者の反応が見違えるように変化しますので、教育効果が高まることは間違いありません。

ご質問等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。